



発行・問い合わせ 伏見区ボランティアセンター
(運営：社会福祉法人京都市伏見区社会福祉協議会)
電話 075-603-1287
FAX 075-603-4532
〒612-8318



← 伏見区社協

伏見区紙子屋町 544
京都市伏見社会福祉総合センター2F
協力 伏見区ボランティアグループ連絡会

ボランティア活動訪問記



Vol.48

伏見区ボランティアグループ連絡会に所属している各ボランティアグループの魅力を紹介！

取材ファイル No.5 醍醐朗読ボランティアの会「ひびき」

(取材：伏見区ボランティアセンター 武田)

☆グループ基本データ

- ・代表者：鹿毛 照美 ・発足時期：1996年
- ・活動目的：醍醐地域で、図書館がおこなう対面朗読事業を中心に、その他関連するボランティア活動をすすめることで、地域での図書館利用の促進と市民生活の充実をめざす。
- ・活動内容：①醍醐中央図書館にて、視覚障がいの方に対しご希望の本や雑誌を朗読
②醍醐中央図書館にて、幼児や小学校低学年を対象にしたお話を実施
③月に一度研修会を実施

今回は、月に一回、技術向上のために実施される研修会に参加してきました！

まずは発声練習です。拗音を含めた五十音や、早口言葉がたくさん含まれた文章を一人ずつ読み上げます。私も少しだけ挑戦してみましたが、冒頭から噛んでしまいました。皆さんずらずらと読まれており、とても驚きました。また、12月には朗読会を控えているということで、この日はそれぞれ自身で選んだ本やエッセイの読み合わせもしました。セリフの抑揚や間の取り方などとても工夫されていて、私もすっかりと聞き入ってしまいました。耳からだけの情報でも、頭の中には物語の風景や登場人物の様子が次々と浮かんで来て、とても楽しい時間でした♪

生の声を通して届けたい

さて、研修会後はメンバーの方にインタビューです！

もともと「ひびき」は、醍醐図書館で対面朗読のボランティア募集があり、その応募者で立ち上げられたそうです。参加のきっかけはさまざまで、「演劇をしていた」「元アナウンサーだった」など、もともと声を使う趣味やお仕事をしていての方から、「子どもをお話会に連れて行っていた」など、参加者からメンバーになられた方も。

やりがいについては、「お話会では、地域のつながりが希薄化している中、絵本を通じて直接子どもたちに何かを伝えられる貴重な場」「対面朗読は、利用者の方にとって外出のきっかけにもなり、とても楽しみに来てくれることが嬉しい」などのお声がありました。



和気藹々と
アドバイスを
し合います！



AIの導入などデジタル化がすすむ中、やはり生の声で温かみを伝えたいと皆さん。私も今回の取材を通して、とてもほっこりとした気持ちになりました。ありがとうございました！